



化学物質管理

法令遵守の徹底とお客様のご要望への対応をめざし、環境負荷物質の適切な管理を進めています。

化学物質管理

製品の化学物質管理

矢崎グループでは、各国で施行されている化学物質関連法規の確実な遵守と、お客様の化学物質管理に関するご要望への対応を目的として、グローバルで仕組みを構築し、運用しています。

各国法規については、改訂・施行の情報収集に加え、今後規制されることが見込まれる化学物質に対して、迅速な対応ができるよう事前準備を進めています。

2015年度は、昨年度から引き続きの活動として、施行が予定されている各国ELV、RoHS規制への体制強化を行いました。また、めまぐるしく変化する環境法規制に対応するため、当社への影響や対応の考え方などを社内関係部署と共有できる体制を構築しました。

PCB廃棄物の適切な処理

国内矢崎グループでは、「ポリ塩化ビフェニル(PCB)*廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、PCB廃棄物の適切な保管と管理とともに、順次、無害化処理を実施しています。また、保管事業所での特別管理産業廃棄物管理責任者の任命のほか、保管場所の施錠、定期的な点検、地震対策などを行い、紛失・破損・漏洩の防止を図っています。

2015年度は、トランスやコンデンサなど計4台の無害化処理を委託し、処理が完了したことを確認しました。今後も計画的にPCB廃棄物の処理を進めていきます。

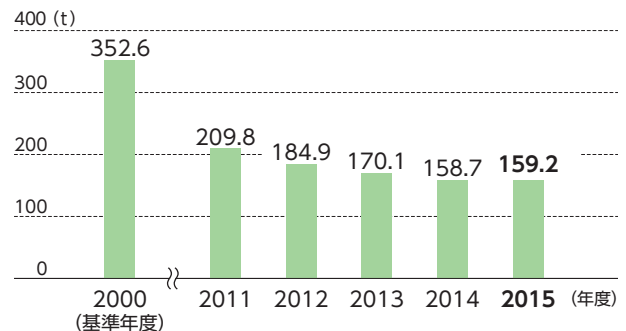
※ **ポリ塩化ビフェニル** かつてトランスやコンデンサなどの電気機器用の絶縁油など、さまざまな用途に利用されていたが、有害であることが判明したため、現在は新たな製造が禁止されている

VOC排出量の削減

国内矢崎グループでは、大気汚染の原因となる浮遊粒子状物質や光化学オキシダントを生成する揮発性有機化合物(VOC)について、所属する業界団体が自主的に定めた目標を達成するため、工程改善・設計変更などによりVOC排出量の削減に取り組んでいます。

各種印刷を行う貫工業(株)(静岡県牧之原市)では、タコグラフのチャート紙の印刷工程でVOC含有塗料を使用しています。そこで、塗装の厚さを限界値まで薄くすることで、チャート紙1枚あたりの塗装量を2.5%削減しました。これらの活動の結果、国内矢崎グループ全体のVOC排出量は159.2トンとなり、2000年度比54.8%減となりました。

VOC排出量の推移



PRTR法指定化学物質の排出・移動量

国内矢崎グループは、PRTR法により指定された化学物質について、法に基づき年度ごとの届出を行っています。

2015年度、国内生産事業所においてPRTR対象物質における規制の対象となったのは6事業所*で、指定化学物質の総排出量は9,240kgとなり、移動量は3,510kgとなりました。

※ **届出対象事業所** 裾野製作所、大浜工場、島田製作所、沼津製作所、富士工場、天竜工場(関連子会社は除く)

PRTR法指定化学物質の排出・移動量 (kg)

物質	排出量					移動量			合計
	大気	水域	土壌	埋立	排出量計	下水	廃棄	移動量計	
1,2,4-トリメチルベンゼン	1,960	0	0	0	1,960	0	1,770	1,770	3,730
アンチモンおよびその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キシレン	3,300	0	0	0	3,300	0	560	560	3,860
トルエン	3,980	0	0	0	3,980	0	760	760	4,740
ニッケル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニッケル化合物	0	0	0	0	0	0	420	420	420
ビス(1-メチル-1-フェニルエチル) = ペルオキシド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉛	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9,240	0	0	0	9,240	0	3,510	3,510	12,750